

意見発表者2(会場③埼玉県さいたま市)

意見の概要

しきを計い給利岡案い人たきねを
凶な都給て需る静替てはれ大跳ン
企断京需め水す、代れてわにがイ
を予東水求の保果水さい行段用サ
回、はたに者確結利がつが格費一
撒りてしム定をのな断に作りのゴ
のあい離ダ予量その判水操よ案に
針でつ乖場水水。実う治の値替業い
方証にとッ利求た現い。字表代事て
止検水実八各要っ非とる数公水ムっ
中る利現をはのか、だあにの治ダな
はあ。量でそなど適でう前、場に
証にるは水証、わな最証よ従果ッ証
検先あ者な検て行るが検るが結八検
のがで定要のしかすムのな果のの
ム論の予不回認し水ダ劇に効そたけ
ダ結も水は今容較導場番利水、っだ
場のい利来、ま比らッ茶有治れな形
ッ続遠る本がまのか八くがのらにの
八継程すてるのと川でし案ムげとめ
の業はとっこそ案士較さムダ上こた
回事とめよとを替富比まダ場きる
今、証じに。画代のの。場ッ引がえ
た検は画る計水県とるッ八く上与

※横書きで記述された内容は、縦書きで転写しております。